

御前崎港港湾脱炭素化推進計画（案）に対する県民意見（パブリックコメント）への対応一覧

- 1 意見募集期間 令和6年12月25日（水）～令和7年1月24日（金）（31日間）
- 2 意見提出状況 （意見提出者） 3名、（意見数） 4件
- 3 提出された意見への対応

（1）全般的な事項

番号	ご意見	意見に対する対応
01	静岡県は地球温暖化対策アプリ、クルポを推進しているはず。脱炭素アクションと、今回の計画、連携すると面白いと思う。	貴重な御意見、ありがとうございます。 クルポは、県民各々が日常生活の中で、温暖化対策に貢献する行動を推進するため、その取組をポイント化するアプリとなります。今回の計画の主体となる行政や企業の取組はアプリの対象外となりますが、港湾脱炭素化推進協議会でも、「クルポ」に関する情報を共有し、アプリの普及に努めてまいります。
02	2024年度から御前崎港内に立地するバイオマス発電施設が稼働すると聞いておりますが、稼働によりエネルギーの低炭素化が実現され、温室効果ガス排出量の削減が期待されるところであります。 バイオマス発電施設の稼働の効果については、計画案のP18の3-2の港湾・臨海部の脱炭素化に貢献する事業に記載されているものの、火力発電等による化石エネルギーから当該エネルギーへの使用を転換した場合の温室効果ガス排出量の削減量は記載されておられません。 脱炭素化の推進を図る上で、効果については、具体的に記載すべきと思われました。	貴重な御意見、ありがとうございます。 本港のバイオマス発電施設は、新規の事業所であり、既存の火力発電等からの建て替えではございませんので、本港における、2013年度比の温室効果ガスの削減量はありません。 なお、国のガイドラインによるバイオマス発電施設の事業効果は、資材の供給先によって異なることから、温室効果ガス削減量としての記載ではなく、再生可能エネルギーの発電量を記載することとなっております。

03	<p>御前崎港周辺は、年間として平均風速が4～5m/s、最大風速については13～16m/s発生しており、洋上風力発電を計画するにあたって、好立地と思われます。実際、現在において、遠州灘の沿岸域には多くの風力発電施設が稼働しております。</p> <p>御前崎港脱炭素化推進計画（案）のP21の表12港湾・臨海部の脱炭素化に貢献する事業（将来の構想）に“洋上風力発電PJ”が記載されておりますが、御前崎港の脱炭素化の実現や、脱炭素社会の構築に向けて、必要不可欠な事業と思いました。</p>	<p>貴重な御意見、ありがとうございます。</p> <p>今後、洋上風力発電の建設時に必要となる基地港湾や維持管理に必要なO&M港※の拠点としての御前崎港の活用可能性を検討するなど、御前崎港港湾脱炭素化推進計画に基づき、官民連携して脱炭素化社会の構築に向けて取り組んでまいります。</p> <p>※O&M港：洋上風力発電の保守・管理拠点港</p>
04	<p>弊社では、脱炭素化の取組として、下記の技術開発を実施しておりますのでご紹介させていただきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・輸送車両のEV化 ・特装車両のFCV化 ・水素発生/貯蔵/充填ステーション ・旅客向け周辺開発 ・旅客向けモビリティ ・津波対策（シェルター） 	<p>貴重な御意見、ありがとうございます。</p> <p>御紹介いただいた内容につきましては、カーボンニュートラルポートを目指す上で期待される技術であると認識しております。</p> <p>本計画では、その技術を整備する事業主体や整備期間等を記載する必要がありますので、関係者に情報提供するとともに、事業主体や整備期間等が定まりましたら、計画に反映してまいります。</p>
	(以下余白)	